

みちくさ

リフレッシュ スタート

ご利用者の笑顔のために

駒場苑

中村施設長の 年中夢求



「スタートライン」～残すは結果を出すだけだ～

平成29年度がスタートしました。昨年度は改善又は向上の為の計画、準備の年度でした。今年度はそれを実行する年度と位置づけています。

【サービス】

駒場苑は7つのゼロへの挑戦→7つのゼロネクストへバージョンアップし、当たり前前の生活を提供していきます。このことは経年ぶれずに行い、成果は上がっていると思いますので今後共に取り組んでまいります。又職員が定着してきたことで基本的な介護サービス以外に外出支援なども可能になってきており、生活を向上させるサービスにも力を入れていきます。

【人材】

総合ケアセンター駒場苑全体が欠員ゼロ、派遣ゼロで年度のスタートをきる事が出来ました。これは今の介護業界における介護人材難において稀有な事です。サービスに前向きに取り組んできた結果、選ばれる施設になってきた証だと思っています。今後はこの職員を育成、定着させて行くことが大切だと考え研修に力を入れていきます。

【財政】

介護保険事業は経営が厳しく、東京の特養は3割以上が赤字というデータも有り、総合ケアセンター駒場苑も非常に厳しい経営が続いておりました。

一つの事業所で事業を完結しようとする、万に備えて余剰人員が必要になりますが、全体で支え合う体制を作ることで適正人員配置を行う等、昨年度は経営体質の改善を行いました。今年度は各事業所共、収支改善を実現します。

【組織】

サービス、人材、財政を支えるのは「個人」ではなく「専門職が集まった組織」です。個人のスキルアップが事業所のレベルアップとなります。つまり専門性の向上、チームづくりと言った点に力を入れて来ました。

今年度は介護の効率化、基礎研修の実施、委員会の開催、各業務の見直しなどに着手し、業務は効率的に、サービスは情熱的に行っていきます。

国民栄誉証を授与された高橋尚子さんがオリンピック本番前に言った言葉です。「いままでにいったいどれだけ走ったか、残すはたった42キロ」

「いままでにいったいどれだけ備えてきたか、残すは結果を出すだけだ」が私の心境です。



高橋相談員の ほのぼの日記



皆さん、こんにちは。

皆さんは「元気」という言葉を普段からよく使われるかと思いますが、先日この言葉について深く考えさせられることがありました。

それは私が参加したケアマネジャーの研修でのことです。その研修ではグループを作って、それぞれが作ったケアプランを発表します。

私が作ったある方のケアプランに「元気に過ごす」という長期目標があったのですが、それを見た他のメンバーから

「要介護5であまり食事が摂れず、栄養補助食品を摂っている状態の方に「元気に過ごす」という目標はふさわしくないのではないかと指摘がありました。

多分そのメンバーは「元気というのはしっかり口から食事が摂れて、日々色々な活動ができるような方に対して使う言葉ではないのか」と言いたかったのだと思います。

私はその指摘にとっても違和感を覚えました。

駒場苑のご利用の中には様々な理由で食事がなかなか摂れない方、体力的なことから長時間起きていることが難しい方がいらっしゃると思いますが、その方が食事は食べられなくても

好物のお饅頭や栄養補助食品をしっかり食べて



うち、おしっこがしっかり出て、お風呂に気持ち良く入れれば（お風呂に入れるということは、体調が良いという証拠です）私たち駒場苑の職員はその方は元気！と判断をします。

その方にとっての「元気」というのはそれぞれ違うのだと思います。

私達のように仕事をしているような現役世代の人の元気と、歳を取りお手伝いが必要となった方の元気の意味は違って当たり前だと思いますし、もっと言えば、要支援1の方と要介護5の方の元気は違うのです。

たとえ食事がたくさん食べられなくても、ご自分で何か活動をするのが難しい状態でも、少しでも食事を食べることができて、スッキリうんちが出て、気持ち良くお風呂に入って、皆さんがそれぞれの元気な状態になるように、これからも頑張っていきたいと思います。



駒場さんさん祭

毎年恒例となりました

「駒場さんさん祭り」を今年も企画しています。

模擬店・盆踊り・ゲームなど盛りだくさん！

ご利用者・ご家族・地域の皆様、揃ってお楽しみ下さい。

日時：平成29年7月29日（土）

場所：駒場苑 1階・2階

詳しくは後日お知らせ致します。どうぞお楽しみに！





フロア主任紹介

今年度の各フロアの主任をご紹介します。
2名のフレッシュな顔ぶれを迎え、3人共やる気満々です！

3階主任

名前： うちうみ さとし 内海 智

出身地：神奈川県横浜市

経歴：駒場苑で働き始めて6年目

最初は4F配属、その後3Fに異動になり主任をやらせてもらって3年目になります。

一言：笑顔をもっと頑張っていきたいと思います！



4階主任

名前： やまもと ひでき 山本 秀樹

出身地：静岡県南伊豆町

経歴：文化服装学院卒。

服飾業界で10年働いた後2002年から介護に転職

一言：介護の仕事はとても楽しい仕事です。多くの人に「介護の楽しさ」を伝えて行きたいと思います。



5階主任

名前： あへ あきひろ 阿部 昭弘

出身地：東京都

経歴：長年、コンビニでアルバイト

をしていました。駒場苑で働き始めて2年目になります。

一言：未熟者ではありますが、仲間の皆さんと一丸となってご利用者のお手伝いを努めて参ります。



質問 こんなフロアにしたい！という意気込みを教えてください。

山本 一人ひとりの利用者様に「楽しみ」のある生活をして頂けるように、一人ひとりのスタッフが個性を発揮できる機会を持ち楽しんで介護を出来ることを大切にしたいです。

阿部 5階はご利用者、と家族、職員のコミュニケーションによるつながりを強く感じるフロアだと思います。このことを活かして、ご利用者同士の対話がさらに多く見られればと考えています。

内海 防げる事故やケガを未然に防ぎ、ご利用者はもちろん職員も笑顔になれるフロアにしていきたいです。

質問 介護をしていて一番楽しいと思うことは何ですか？

阿部 当然のことですが、ご利用者にどのようにお手伝いをすれば良いかと職員みんなで共有しあって考えていくことです。

内海 ご利用者の体験談や昔話、ご家族からその方の人柄や思い出話を聞かせて頂く事で、より一層ご利用者を知ることが出来た時です。

山本 オムツやパッドではなく、トイレで排泄の支援をして結果が出た時です。

質問 お手伝いする時「これは自分だけ？」と思うことはありますか？

内海 ご利用者にわかりやすいようにリアクションは若干大きめにとるようにしていること。

山本 食事のお手伝いをする時、左手しか使わないこと。理由は左手だと少量しかすくうことが出来ず、ゆっくりと丁寧な介助ができるからです。

阿部 移乗のお手伝いの時に「よいしょーどっこらしょ！」と言うのが癖です。するとご利用者も「よいしょ！」とか「わっしょいのっしょ！」などと合いの手を入れてくださることがあります。そんな一体感を楽しんでます。

今年度はこの3人が中心となって介護職員をまとめ、ご利用者へのサービスを行います。今後「みちくさ」でも介護に対する熱い想いを発信していきます。どうぞお楽しみに！



春うらら...

4月の初め、今年も愛隣会の桜が綺麗に満開となりました！今年は開花してから気温が低い日があった為か、とても花持ちが良かったように思います。何日間かに分けて、ご利用者の皆さんを敷地内のお散歩にお連れしたり、ベランダから眺めていただいたり、皆さんにそれぞれのお花見を楽しんでいただきました。お花見中、普段は眠っていることが多いご利用者も外の空気に触れて満開の桜を見たら、目をまんまとさせてお花見を楽しんでいらっしたようでした。

